

## 随筆

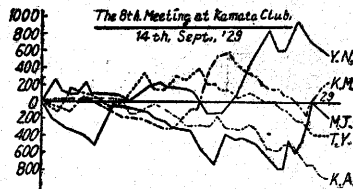
マー جان・ノンフィクション

## 記録

永井芳男

今から 20 年前になる。6 人の仲間が麻雀をした。麻雀は 4 人であるものであるが 6 人であるところにこの物語、否、科学的記録の發端があったのである。昭和 4 年の春といえ、まだホンの流行の初めであり、わたしたち同級生が大學の三年生で卒業研究に没頭(?)していた時代である。同志 J 君の兄貴が外交官であった関係上世に魁て手にすることができた。土曜日の午後はわれ等の自由なる時間と認定して毎週仲間の家庭を順次廻してクラブとした。その名も Weekend Chy-Pon Party とし、1929 年 6 月 8 日にはじまったこれらの記録はこれを 3 期にわけることができる。

第 1 期は 6・8~10・12 の創業の時代であり、2 期は 10・26~11・9 のクラブ員激増の時代であり、3 期は卒業後の記録である。當時、わたしたちも 6 人は皆熱心で一刻も牌を手にしたかつたため、一風戦を待つことができず、absolute unit な 1 回戦を以つて 4 人中の低點者 2 人が落ちて、待機していた 2 人が代つて登場する約束である。いま考えれば大變な立居振舞の忙しさであつた。計算はサイドも加える精密計算であり、また計算棒を用いずに、休んでいる 2 人が刻々の得點の變化を記録したのである。この記録を圖に描いたカットは 9・14 蒲田クラブで行われた第 8 回の曲線で横軸は回数、縦軸は得點を表わしている。連続上昇は連親であり、水平線は落第期間を意味している。また、別に記録があり 6・22 の世田谷クラブで行われた第 4 回のものを御覽に入れれば Table 1 の如くであつて、當日の天氣は快晴、無風、蒸暑いとあり、天候が戦績を左右する重大因子として記録されたものである。表中、3) 項はその日に戦の全回数、4) は各人の牌を手



した回数、したがつて 5) は 4)/3) で麻雀を楽しんだ率であり、誰いうとなく Geniessen modulus という事となつた。7)=6)/4) で Mah-Jong index であり「安上り」の率を示しているし、8) は戦中の最高點で運とガメクリの記録である。最後には簡単な戦評があり、この日は大變蒸暑つたため頭のかすむ者 (Cathmist クラブの隠語) が多かつたと書いてある。また、夏休中は八幡製鐵所へ實習に行つたが同志相集り牌を引携げて西下した。夏のはげしい暑さの下に一日の實習を終えて、宿舍の荒生田山に歸つてくると、蚊帳の中で Great Summer Exercise と稱し、體力をかけて毎晩戦を交えた。この時の曲線は方眼全紙を 2 枚合せても兩軸ともに不足であり、また各人に

よる「上り」の Distribution diagram の長さは 1.24m に達している。これによると各人の戦性がよくわかつて面白い。

第 3 期は卒業後であり、流石に忙しく 3 回しかやつていないが、そのサンプルを次にお目にかける、すでに小うるさきデータは省かれ、文章も内容も年とともに生長した感ある 40 男の表現である。呵々。

この記録は 34 頁で尤に卒業研究位のヴォリュームに相當し、世界に比類のないものかも知れない。生研報告として出しても不可なきか、呵々表紙は筒、万、索と發、中、白、風、を基とした極彩式の模様は PROM-EMORIA とあり、裏表紙には「此文献ヲワレ等ノ土曜麻雀會ト其光輝アル傳統ニ對シ心ヨリ捧グルモノナリ仍テ之ヲ又永劫ニ保存セヨ。昭和四年武士道華カナリシ頃、全員各自印」と書かれてある。

爾來 20 年の星霜を経て戦災にもあはず無事に秘藏されている。アヴァン・ギャールの若き日の記録としてお目につけた次第。妄言多謝。

Table 1. Results of the 4th. meeting of the "WEEK-END CHY-PON PARTY"

Setagaya-club, 22th. June, 1929, Fine, no wind & hot.						
1) Name	N.	Y.	M.	J.	U.	A.
2) Ranking	1	2	3	4	5	6
3) No. of plays by all	40	40	40	40	40	40
4) " personnels	30	27	28	24	25	27
5) Geniessen-modulus	0.750	0.675	0.700	0.600	0.625	0.675
6) No. of Mah-Jong	10	8	9	4	5	4
7) Mah-Jong index	0.333	0.297	0.322	0.166	0.200	0.149
8) Greatest tricks	240	120	272	168	68	58
9) Rongs by 22-marks	1	—	—	—	—	—
24~30	2	3	3	2	2	2
32~40	—	1	—	—	—	1
42~50	2	—	1	—	1	—
52~70	1	1	2	1	2	1
72~100	2	1	—	—	—	—
102~200	—	2	2	1	—	—
202~300	2	—	1	—	—	—
10) Total marks won	1236	894	664	-370	-426	-894
11) Successive total sum	750	1168	-764	600	-1304	-314
12) Successive ranking	2	1	5	3	6	4
13) Revoke penalty (one revoke: -300)	1	0	2	1	0	0

Remark: It was fine, no wind, hot and moist, yah! "Kingdom of Cathmist".

## Grosse Übung imi Hochsommer

Seit unserer Studentenzeit haben wir gern Mahjong gespielt. Wir, die Mitglieder des Wochenendklubs, wie wir nannten, machten uns für den Sonnabend nachmittag frei, und hielten unsere geschichtlichen Kämpfe ab, wobei abwechselnd jedes Mitglieder sein Haus als Klublokal zum Verfügung stellte.

Nach unserer Graduierung kamen wir alle in beschäftigte Stellungen, und damit musste das Mahjong-Spielen von selbst ausfallen. Doch bis heute ist die Leidenschaft für das Mahjong in uns nie erloschen. Darum, wurden im letzten Hochsommer die "Summer Exercises" in S. Klub gehalten, um die vergangene Blütezeit zu feiern.

Obwohl es vielleicht der heisseste Tag dieses Jahres war, kämpften wir gegeneinander mit allen Kräften, für unsere baillante Geschichte. Anfangs hatte Herr N die Oberhand dank seiner guten strategischen Vortelle in seinem eigenen Haus, aber endlich veränderte sich die Lage seinem Nachteil, infolge Herrn Ys zweimal geglückten Spekulationen auf Chin-Ih-Soh, an Thonz und Manz.

Den 17. Aug., 41.